

大分市議会市民意見交換会で出された意見について 【移住・定住の取組】

No.	市民意見交換会で出された意見
1	移住者のうち、Uターン者数や年代、職種、居住エリア、移住理由等はどうなっているのか。
2	移住者の対象の範囲についてどのように考えているのか。
3	若者のUターンを含め、若い世代が住み続けられるような施策が必要ではないか。
4	大分市の魅力づくりに取り組み、その魅力を工夫してPRすることや移住に関する施策の周知の必要があるのではないか。
5	住宅に関して、必要な支援や住居環境の整備に関する取組をしてはどうか。
6	空き家の活用について、制度の周知を含めて、対策に力を入れることで移住・定住にもつながるのではないか。
7	移住・定住にはまず仕事があることが重要であり、企業と協力した取組も含めて、環境の整備が必要ではないか。
8	子育て支援の充実が、移住・定住につながるのではないか。安心して子供を産み育てられるよう、他市の取組も参考に、施策の充実を図ってほしい。
9	移住施策とあわせて、農林水産業施策にも取り組んではどうか。
10	各地域の実情や特色にあった対策を進めてほしい。
11	移住・定住の取組について、議会としてどのような課題やビジョンを持って取り組んでいこうとしているのか。
12	移住を考える際に、安心・安全なまちであることも大切ではないか。
13	異なる文化や環境で育った人を受け入れるためには、環境づくりやコミュニケーションが重要ではないか。
14	移住後も住み続けるために、学校の存続や道路といったインフラ面の整備についても考えて取り組んでほしい。
15	元気な高齢者も多いことから、高齢者が活躍できるような取組も必要ではないか。
16	移住・定住のあった地区に補助を行ってはどうか。
17	定住につながらない原因の調査や移住者の環境など考慮する必要があるのではないか。
18	他の自治体との人口の取り合いにならないような取組を進めていく必要があるのではないか。
19	住民自身で、市の魅力づくりを進めるような市民も巻き込む取組をしてはどうか。
20	人口減少対策として、移住・定住も大切だが、結婚を希望する人を支援することで、子供が増えていくのではないか。
21	企業とのコラボレーションなどに取り組んではどうか。
22	人口減少社会の中で、どうしたら人口を増やせるか、定住を進められるかといったことや、世代の循環、生産年齢人口を増やすことを考えることが必要ではないか。
23	市外から人を引き込むことやUターンを進めることが重要ではないか。
24	学校がある環境やのびのびとした教育を受けられることなどの支援が必要である。